

朝日大学病院を受診された患者さまへ

研究情報の公開について（オプトアウト）

通常、臨床研究を実施する際には、文書もしくは口頭で説明し同意をいただきます。臨床研究のうち、患者さまへの侵襲や介入もなく診療情報等の情報のみを用いるものは、国の定めにより、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得る必要はなく、研究の目的や方法などの情報を公開のうえ、拒否の機会を保障しなければならないものとされており、このような手法を「オプトアウト」といいます。当院では、このオプトアウトを用いた研究を下記のとおり行います。研究への協力を希望されない場合は、下記に記載の担当者までお知らせください。

研究課題名	当院睡眠医療センターにおける反復睡眠潜時検査（Multiple Sleep Latency Test: MSLT）に関する実態調査
当院の研究責任者（所属）	睡眠医療センター 大倉睦美
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	昼間の眠気をきたす疾患は睡眠障害国際分類では中枢性過眠症群が分類されている。これらの疾患の診断に関しては睡眠ポリグラフ検査と反復睡眠潜時検査（Multiple Sleep Latency Test: MSLT）が必須である。MSLT 施行患者の背景や結果を解析することにより、MSLT を過眠症診断への用いる際の問題点等を明らかにするとともに、神経発達症への治療アプローチの一端とならないかを探ることを目的とする
調査データ該当期間	2020年10月15日から2025年10月30日
研究の方法（使用する資料等）	終夜睡眠ポリグラフ検査 反復睡眠潜時検査 問診表等
試料/情報の他の機関への提供	なし
個人情報の取扱い	情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません
本研究の資金源（利益相反）	なし
お問い合わせ先	睡眠医療センター 大倉睦美
備考	